

3M™ アテスト™ オートリーダー 390/390G 共通

培養手順



390

390G

1 冷ます



滅菌器から取り出したBIを最低10分間室温で冷ましてください。

2 閉じる



キャップを閉じてください。



3 クラッシュ



キャップを持ち、クラッシャーでガラスアンプルを割ってください。



4 染み込ませる



キャップを持ち、何回か軽く叩きつけて培養液を芽胞紙片に染み込ませてください。

5 目視確認



培養液が芽胞紙片に染み込んでいることを目視確認してください。



6 培養開始



BIを培養ウェルに差し込んでください。「***」→「**」→「*」と表示された後、結果判定までの残り時間(分)が表示されていることを確認してください。

7 判定



ディスプレイに判定結果(陽性:「+」、陰性:「-」)が表示されるまで、BIを取り出さずに培養を続けてください。

8 記録



BIの判定結果を記録してください。

専用BI

3M™ アテスト™
短時間判定用生物学的インジケータ

1291

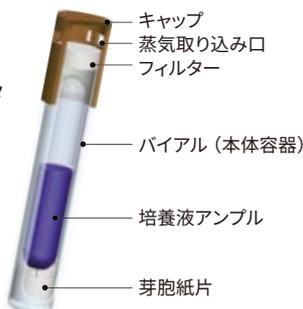
ハイスピード高圧蒸気滅菌用

1292

高圧蒸気滅菌用

1294

エチレンオキシドガス (EOG) 滅菌用



定期点検のご案内

オートリーダーの機能維持のため、年1回の定期点検を推奨しております。

点検内容: 温度制御および光学判定機能の確認と較正
料金: 25,000円

部品交換を伴う修理が必要な場合は、別途部品代が必要になります。

ご購入後の1年点検は無償で実施いたします。

BIの陽性判定が示された場合に、同じBIを別のウェルに差し替えて再度培養を行うことは、オートリーダーの判定原理上できません。



ブザーアラームオフボタン

トラブルシューティング

LCDディスプレイパネルは、バックライトが点滅し、警報音が鳴り（警報が有効になっている場合）、該当する培養ウェルの下にコーション [C] またはエラーコード [E] を表示します。警報音とバックライト点滅は、ブザーアラームオフ (Buzzer Alarm Off) ボタンを押すことで、消すことができます。警報音を無効にしてもLCDディスプレイのバックライト点滅が無効になることはありません。

コーションコード一覧

コーションコード	説明	対処法
C1	装置ウォームアップコーション 電源を入れた後、培養ブロックが設定温度に達するまで表示されます。	オートリーダーの電源プラグを入れた後、30分間のウォームアップ時間を取ってください。（注：BIの判定は、培養ブロックが 390 : 60°C ± 2°C 、 390G : 37°C ± 2°C になるまで無効です。）
C2	BIが培養ウェルから取り出されたコーション BIが、培養完了する前に取り出された場合に表示されます。	BIを適切な培養ウェルに10秒以内に戻して、収集データを喪失しないようにしてください。コーションの表示から時間が経過してしまったBIは正確な結果を得られません。pH指示薬の変色で判定をしてください。
C4	環境光コーション	オートリーダーの電源プラグを一旦切って入れ直してください。太陽光や室内の蛍光灯などを軽減できる場所にオートリーダーを移動させ、コーションがクリアされたことを確認してください。※

エラーコード一覧

エラーコード	説明	対処法
E1	温度コントロールエラー システムがインキュベーターブロックの温度を管理できなくなった場合に表示されます。	エラーがクリアされたことを確認後※ 培養ブロックが設定温度 (390 : 60°C ± 2°C 、 390G : 37°C ± 2°C) になるまでウォームアップ時間を取ってください。
E3	メモリーエラー 本体メモリーにデータを保存／読みだしができなくなっている可能性があります。	
E7	コミュニケーションエラー	
E8	LEDエラー 特定の培養ウェルで、システムがUVLEDまたは光検知サーキットが作動していないことを検知した場合に表示されます。	オートリーダーの電源プラグを一旦切って入れ直し、エラーをクリアしてください。
E11	BIの不適切な挿入エラー アンプルのクラッシュが適切に行われていない場合などに表示されます。	エラーがクリアされたことを確認後※ 使用してください。 エラーの発生したBIは正確な結果を得られません。pH指示薬の変色で判定をしてください。
E12	電源制御エラー 培養中のオートリーダーへの電源供給に問題があった場合などに表示されます。	アンプルのクラッシュが適切に行われているか確認してください。エラーがクリアされたことを確認後※、必要に応じて“手順3.クラッシュ”からやり直してください。
E14	環境光エラー（使用中の培養ウェル）	オートリーダーへの電源接続を確認してください。※ エラーの発生したBIは正確な結果を得られません。pH指示薬の変色で判定をしてください。
		オートリーダーを、太陽光や室内の蛍光灯などを軽減できる場所に移動させ、エラーがクリアされたことを確認してください。※ エラーの発生したBIは正確な結果を得られません。pH指示薬の変色で判定をしてください。

※ 電源プラグを入れ直した後もコーションコード、エラーコードが再表示される場合は、下記カスタマーコールセンターに修理または交換を依頼してください。

3M、Attest、アテストは、3M社の商標です。

2020年3月発行



スリーエム ジャパン株式会社
http://go.3M.com/medical-jp/

Please Recycle. Printed in Japan.
© 3M 2020. All Rights Reserved.
HPM-596-F(03200.5)IT

カスタマーコールセンター

製品のお問い合わせはナビダイヤルで
0570-011-321

8:45~17:15 / 月~金 (土日祝年末年始は除く)